

京都市産業廃棄物 3 R 推進会議開催要綱

(目的)

第 1 条 この要綱は、第 3 次京都市産業廃棄物処理指導計画に基づき、実効性ある産業廃棄物処理施策を推進することにより、産業廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用（以下「3 R」という。）の促進並びに適正処理の確保を図り、もって循環型社会の構築に資するため、京都市産業廃棄物 3 R 推進会議（以下「会議」という。）を開催することに関し、必要な事項を定めるものとする。

(議事)

第 2 条 会議は、次に掲げる事項について意見交換を行う。

- (1) 本市の産業廃棄物処理施策の実施状況に関する事項
- (2) 産業廃棄物の 3 R 及び適正処理を促進する観点から本市が国に対して行う政策提案に関する事項
- (3) 第 3 次京都市産業廃棄物処理指導計画に関する事項
- (4) 前各号に掲げるもののほか、前条の趣旨に照らして必要と認められる事項

(委員)

第 3 条 会議の委員は、14 人以内とする。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が就任を依頼する。

- (1) 学識経験者
- (2) 産業廃棄物排出事業者
- (3) 産業廃棄物処理業者
- (4) 市民
- (5) 行政機関の職員

3 委員の任期は、2 年以内において市長が定める期間とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任することができる。

(委員長等)

第 4 条 会議に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、各委員の同意を得て、委員のうちから市長が指名する。

3 委員長は、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、委員長に代わり会議の議長を務める。

5 委員長は、必要があると認めるときは、前条の委員以外の者を会議に出席

させ、意見を求めることができる。

(会議の開催)

第5条 会議は、市長が招集し開催する。

(庶務)

第6条 会議の庶務は、環境政策局循環型社会推進部廃棄物指導課が行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、各委員の意見を聴き、環境政策局長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成23年6月2日から施行する。

(関係要綱の廃止)

2 京都市産業廃棄物連絡協議会設置要綱は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成25年3月11日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成25年11月14日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の際現に旧要綱（この要綱による改正前の要綱をいう。以下同じ。）第3条第1項又は第2項に規定する委員又はオブザーバーの任にある者は、同条第3項の規定による委嘱があった日に第3条第1項に規定する委員に就任したものとみなす。

3 この要綱の施行の際現に旧要綱第4条第1項に規定する委員長又は副委員長の任にある者は、第4条第2項の規定により委員長又は副委員長に指名されたものとみなす。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年5月8日決定）

この要綱は、決定の日から施行する。

附 則（平成29年7月13日決定）

この要綱は、決定の日から施行する。